

絆 <キズナ> 2

杉並区立高南中学校
第2学年通信
令和4年6月24日
第6号

* 職場体験学習がんばろうウィーク！ *

定期考査が終わり、テストの返却が始まっています。テスト当日は多くの方がいつもよりずっと早く登校し、一人で黙々と勉強、あるいは友達と一緒に問題を出し合う姿が見られ、成長を感じました。返却されたテストの点数だけをみるのではなく、取り組み方がどうだったのかをぜひ振り返ってください。そして最も大切なことは、日々の授業に集中して、主体的に学習に取り組むことです。反省をしっかりと次へつなげ、自分の力にしてほしいと思います。



さて、2年生は忙しいです。息つく暇もなく、職場体験学習が目前に迫っています。履歴書には体験への意欲がびっしりと書かれていて、皆さんのやる気と期待がよく伝わりました。この先は、マナー講習会と続きます。実際に大人が働いている職場に行くのですから、言葉遣いや所作、コミュニケーションの取り方など、失礼のない態度が求められます。みなさんにはぜひ、職場体験学習を通して、中学生らしい社会性を身に付けてほしいと思います。これから職場体験学習までの約2週間、日ごろの学校生活から自分の態度を見直してみませんか。

☑できているかチェック！大切なこと10箇条

- あいさつは爽やかに元気よくしているか
- プリントなどを提出するときは、先生の方に向きを変え両手で渡しているか
- 話す人の顔（目）を見ながら話を聞いているか
- 大人に対して敬語を使い、丁寧な言葉遣いをしているか
- 「ハイ」と短くハキハキとした返事をしているか
- 何かしてもらった時に「ありがとうございます」と言っているか
- 何か間違えたり失敗したりしたときに「すみません」と謝っているか
- 何かをしてもらう時に「お願いします」と言っているか
- 時間を守ろうとしているか。
- 身だしなみは清潔か

▼昼休みと放課後を使って、グループのリーダーが事業所に当日の詳細を伺う電話をかけました。丁寧な言葉遣いに慣れなくてドキドキしていましたが、上手に会話していました！



・・・ 職場体験学習 事業所一覧 ・・・

コンビニ	セブンイレブン東高円寺店	コンビニ	セブンイレブン和田三丁目店
スーパー	サミット成田東店	スーパー	サミット鍋屋横丁店
スーパー	サミット妙法寺前店	保育園	荻窪北保育園
保育園	高円寺北保育園	保育園	高円寺南保育園
保育園	のはら保育園	保育園	ウィズブック保育園高円寺南
保育園	成田コスモ保育園	保育園	堀之内東保育園
保育園	馬橋保育園	保育園	むさしの保育園方南分園
幼稚園	明愛幼稚園	小売り	あゆみBOOKS杉並店
小売り	秀文堂書店	小売り	ペットの専門店コジマ阿佐ヶ谷店
教育	済美教育センター	教育	杉並第三小学校
教育	杉並第十小学校	福祉	杉並こすもす生活園
図書館	高円寺図書館	神社	井草八幡
自動車整備	交友自動車工業株式会社	飲食	サイゼリヤ新中野店
サービス	杉並児童交通公園		

先生たちが事業所へ職場体験の依頼の電話をしたのは春休みでした。コロナ禍でも気持ちよく受け入れを承諾してくださった事業所の方に感謝の気持ちを忘れず、実りある体験にしていきましょう！

裏面に運動会の作文が載っています

* 運動会の思い出 * ~生徒作文紹介~

今回の作文は、国語の授業で「ドラマチックに書く」をテーマに書いたものです。当日の様子や気持ちがリアルに伝わる、感動的な作文になっていると思いますので、ぜひお読みください🙏

『応援』が作った強固な『絆』。』

個人情報につき消去しています。

「まだ跳べる！」「頑張れ！」新しいクラスになってわずか二か月で迎えた運動会。仲間と声が掠れるほど励まし合った。最後から三番目の種目「大縄跳び」。クラスで息を合わせ、一人一人が本気でやらなければ多く跳ぶことはできない種目だ。

運動会当日、午前の種目が終わった。そしてその時はやってきた。涼しい風が吹いていた。「5」「4」「3」カウントダウンが始まった。回し手が縄を回し始めた。無我夢中だった。順調に回数を重ねていった。しかし、みんなの足が次第に動かなくなってきてしまった。午前の競技で疲労がたまっていたのだろう。僕は思った。もう跳べない…。その時だった。「まだ跳べる！」「頑張れ！」前半組のみんなが声をかけてくれた。今まで感じていた、とてつもない疲労感がどこかに吹き飛んだ気がした。再び動き出した。みんなの止まっていたはずの足がそこから調子を持ち直し、今まで練習で取れなかった、前後半合わせて 2000 ポイントを取ることができた。この時、クラスが一つになったように私は感じた。とても感動した。

あきらめかけた時に聞いた声援は、今も印象強く残っている。全校で一位を取れなかったのは悔しいけれど、それでも二位だ。しかし、それ以上に今回の運動会では、得点や勝ち負けなんかより、ずっと大切なものを得ることができた。「絆」を。

「みんなが一つになった時。」

個人情報につき消去しています。

僕はあの時、とても緊張していた。人生8回目の運動会。今まで運動会で目立ったことのない僕にとって、いかだ流しの船頭をやるというのはすごい出来事だった。深く考えずに船頭に立候補した。でも、やるからには本気でやろうと思った。

初めての練習。こんなのできるのか？と思った。人の上に乗るとバランスを崩して落ちてしまう。半分あきらめていた。

ある日の練習。雨が降り、暗い日だった。その練習の最中、僕は怒ってしまった。クラスの人からの意地悪な声が聞こえたのだ。怒った僕は、その人に強く当たってしまった。

また別の日の練習。運動会が近くなり、僕は焦りを感じていた。しかし、その気持ちはすぐに晴れた。上に乗ると、「焦るな！」などの声が聞こえたのだ。クラスがだんだんとまとまってきているのを感じた。

そうして練習を重ね、運動会当日。良く晴れていた。時間はあっという間に過ぎ、いかだ流しが近づいた。入場門に向かっていく時に、多くの先輩や先生から声をかけてもらい、嬉しかった。そして僕らは入場し、競技が始まった。A組女子はとても速く、差がついた状態で僕は上に乗った。頭が真っ白になったまま、半分を過ぎた。僕は焦った。右にB組の影が見えたのだ。そんな時、みんなの声が耳に入ってきた。「焦るな！」「落ち着いて！」と。そうだ、落ちてはいけない、と思いゴールが見えた。その時、僕はみんなが一つになったと思った。どちらが先にゴールしたかわからない。ドキドキしながら判定を待った。「赤組の勝ち！」僕は心の中でガッツポーズをして、友達とハイタッチした。A組みんなが一つになったこの思い出を、忘れることはないと思う。

「頑張れ、腕。」

個人情報につき消去しています。

僕は腕を殺した。痛みや疲れも乗り越えた。

僕は回し手だった。正直、僕はこの役は嫌だった。なぜなら回し手に対する文句は、跳んでいる人の数倍多いからだ。回すごとに「縄が長い」「速いから遅くして」などの文句が色んな人からくる。よくイライラすることもあった。でも、回し手が上手だったら皆も跳べるし、下手だったら跳べないのも事実だ。だからできない組を担当している自分は頑張った。そしてペアの回し手と沢山相談して、記録を最初の数倍まで上げることができた。その時はいろいろな文句にもイライラせず、むしろ欲しいくらいだった。跳ぶ人も、記録のために言いたくなる気持ちを理解できたからだ。

本番当日、始まる前はなんだかドキドキしていた。それに学校に向かっていく時に黒猫と出会い、最悪な予感がしていた。内心、本当に跳ばせられるか心配だった。できる組が先に跳んだ。それまでの時間は長くも短くも感じた。不思議な気分だった。そして自分たちの出番、縄はいつもより重く感じた。まるで腕に赤ちゃんがしがみついているような重みだ。カウントダウンが、シャトルランのカウントのような絶望感だ。でも始まった瞬間、心が無くなった。縄を回して自分の声を出しているだけだ。でも、跳んでいる人と息が合わずどんどんつかえ始めた。この縄が一気に止まる時が一番腕が痛いとき。その時腕がつりそうになった。しかし、神様が舞い降りた。痛くないのだ。そして記録は前より良かった。終わった時、やっぱり腕が痛くて、初めての経験だったので驚いた。これが運動会の大縄跳びだった。